

大阪経済の情勢

(平成28年8月指標を中心に)

平成28年10月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、回復の動きに足踏みがみられる」

需要面では、個人消費は、回復の動きに一服感がみられる。百貨店・スーパー販売額は減少、コンビニ販売額、家電販売額(7月)、新車販売台数は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。投資は、持ち直している。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。輸出は、弱い動きとなっている。輸出額は減少。主要国向けでは、すべての地域向けで減少。輸入額は減少。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(7月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(7月)は低下、全国の生産(8月)は上昇。企業倒産では、件数は横ばい、負債金額は悪化。雇用は、改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(7月)は低下。

先行きでは、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。

		需要							
総合		消費				投資		貿易・観光	
一致CI(大阪)		大型小売店販売(大阪)	コンビニ販売(近畿)	家電販売(近畿)	新車販売(大阪)	新設住宅着工(大阪)	建築物着工(大阪)	輸出(近畿)	関空外国人旅客
8月		↓	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↑
7月	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↓	↓	↑

		供給				
		生産		倒産	雇用	
		生産指数(大阪)	生産指数(全国)	倒産件数(大阪)	有効求人倍率(大阪)	失業率(近畿)
8月		↑	↑	→	→	↑
7月	↑	↑	↓	↑	↑	↑

※前年同月と比較し、上向きの矢印は「景況改善」、下向きの矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向きの矢印となる。

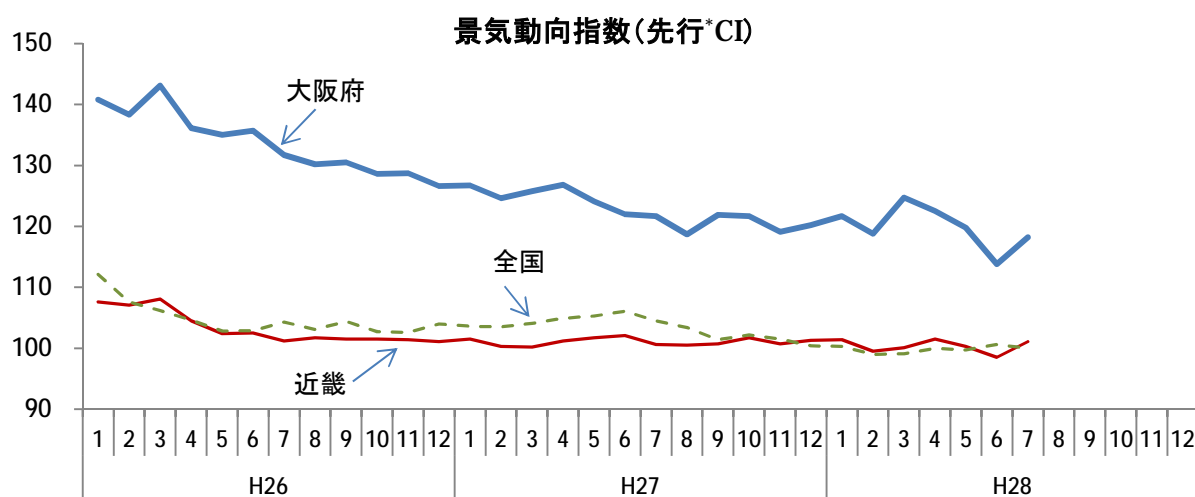
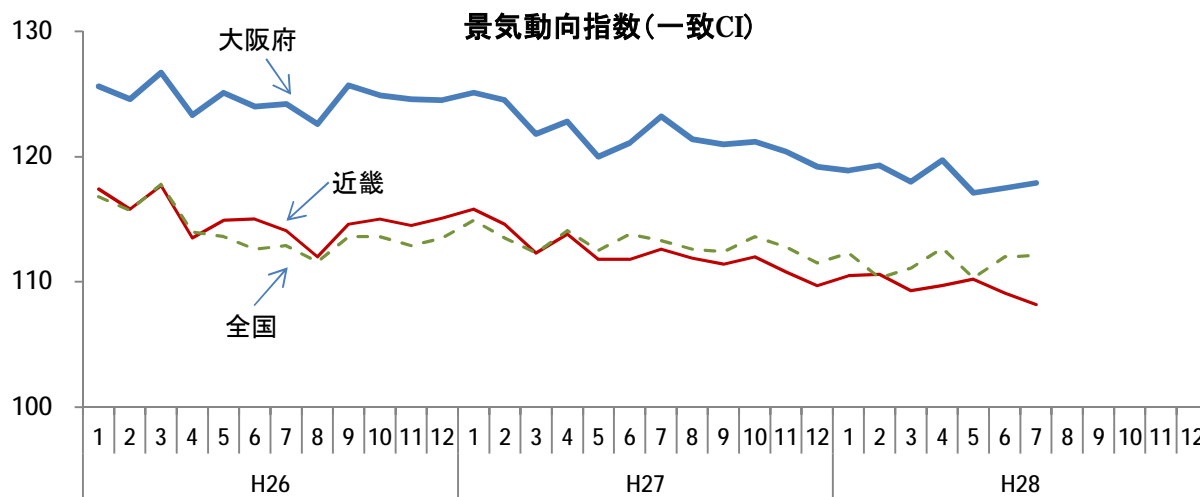
(参考)各機関の総括判断

	先々月(28年8月公表分) (28年6月指標中心)	先月(28年9月公表分) (28年7月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」	大阪経済は、回復の動きに足踏みがみられる。	大阪経済は、回復の動きに足踏みがみられる。
内閣府「月例経済報告」	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに改善している。	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに改善している。
日本銀行大阪支店「近畿地域金融経済概況」	近畿地域の景気は、緩やかに回復している。	近畿地域の景気は、緩やかに回復している。

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(7月)では、一致CI、先行CIはともに上昇。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」、「製造工業生産指数」が上昇に寄与。近畿(7月)では、一致CIは低下、先行CIは上昇。全国(7月)の一致CIは上昇。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致CI

H22=100	28年6月	7月	8月
大阪府	117.5	P 117.9	
近畿	109.1	P 108.2	
全国	112.0	112.1	

先行CI

H22=100	28年6月	7月	8月
大阪府	113.8	P 118.2	
近畿	98.5	P 101.1	
全国	100.6	100.0	

一致CIの個別系列の寄与度*(大阪府、7月速報)

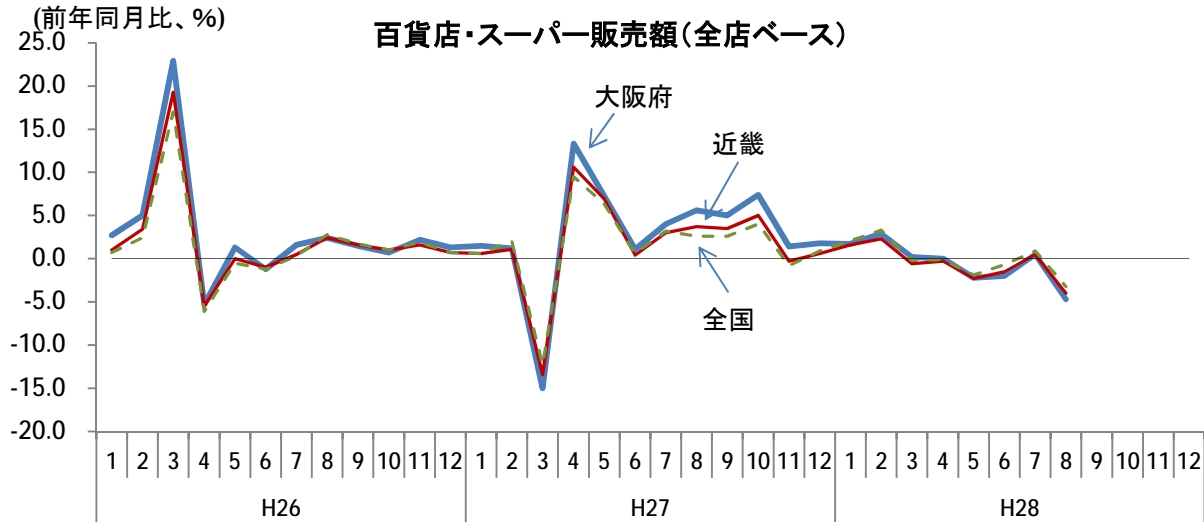
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	関西大口電力使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
0.53	▲0.63	0.30	0.17	▲0.05	▲0.07	0.10

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、回復の動きに一服感がみられる。百貨店・スーパー販売額は減少、コンビニ販売額、家電販売額(7月)、新車販売台数は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【2ヶ月ぶりの減少。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		28年6月	7月	8月
販売額 (億円)	大阪府	1,394	1,614	P 1,365
	前年比 (%)	▲2.0	0.5	P ▲4.7
	近畿	▲1.5	0.5	P ▲4.0
	全国	▲0.7	0.9	P ▲3.2

百貨店販売額(全店)

		28年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	▲5.8	1.6	P ▲7.1
	全国	▲3.9	▲0.4	P ▲6.3

スーパー販売額(全店)

		28年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	1.9	3.1	P ▲2.5
	全国	0.9	1.6	P ▲1.9

家電大型専門店販売額(全店)

		28年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	0.7	4.5	P ▲13.7
	全国	2.6	1.6	P ▲11.1

ドラッグストア販売額(全店)

		28年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	7.5	7.9	P 5.4
	全国	4.9	5.9	P 3.5

ホームセンター販売額(全店)

		28年6月	7月	8月
前年比 (%)	大阪府	2.4	6.5	P ▲1.9
	全国	0.7	3.7	P ▲2.8

○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は42ヶ月連続の増加。】

		28年6月	7月	8月
販売額(億円)	近畿	1,399	1,547	P 1,527
前年比 (%)	近畿	4.4	5.1	P 3.9
	全国	3.8	3.8	P 3.4

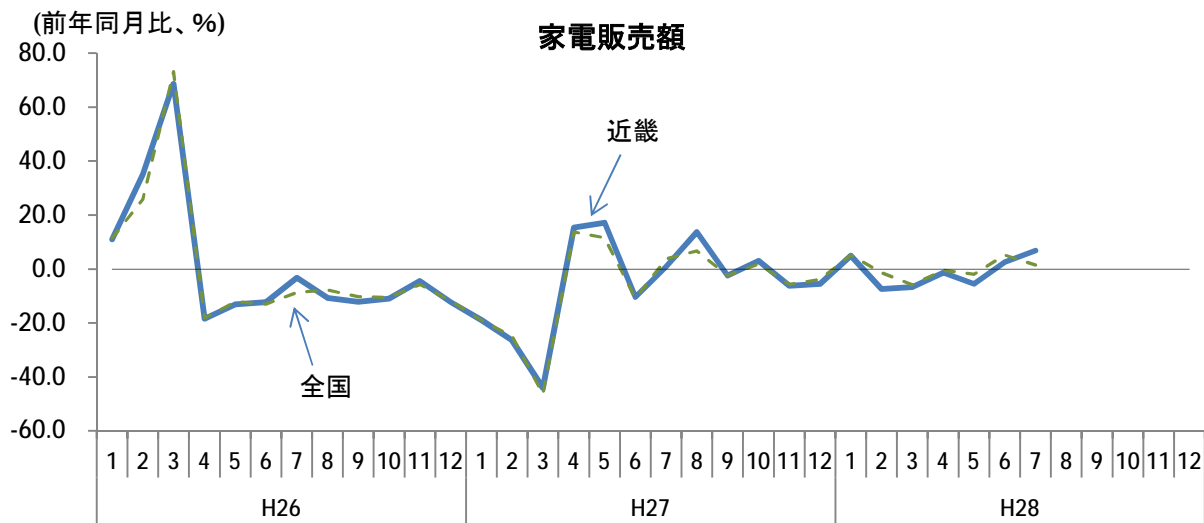
○家計消費支出【近畿は2ヶ月ぶりの減少。】

		28年6月	7月	8月
円	近畿	242,924	284,342	276,144
前年比 (%)	近畿	▲5.2	3.6	▲1.5
	全国	▲2.7	▲0.9	▲5.1

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【近畿(7月)は2ヶ月連続の増加。】



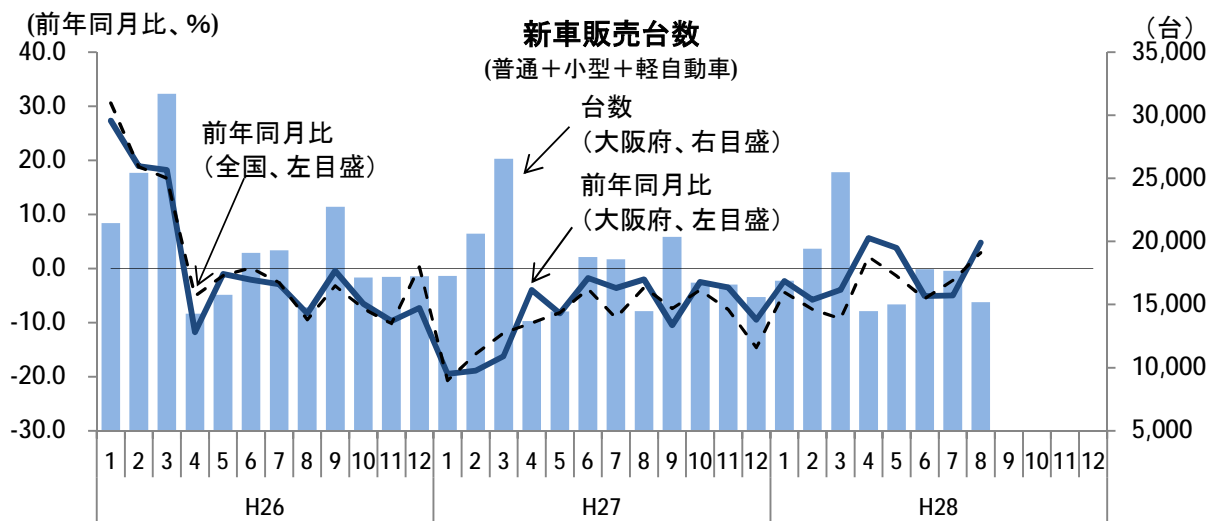
(資料) 近畿経済産業局「近畿経済の動向」

		28年6月	7月	8月
前年比 (%)	近畿	2.6	6.8	
	全国	5.2	1.5	

商品別の主な増減(近畿、7月)

「デジタルカメラ」等が前年を下回ったものの、「エアコン」、「冷蔵庫」等が前年を上回った。

○新車販売台数【前年同月比で3ヶ月ぶりの増加。】



(資料) (一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会

		28年6月	7月	8月
販売額(台)	大阪府	17,808	17,668	15,186
前年比 (%)	大阪府	▲5.1	▲5.0	4.8
	全国	▲5.6	▲2.2	2.9

車種別の増減

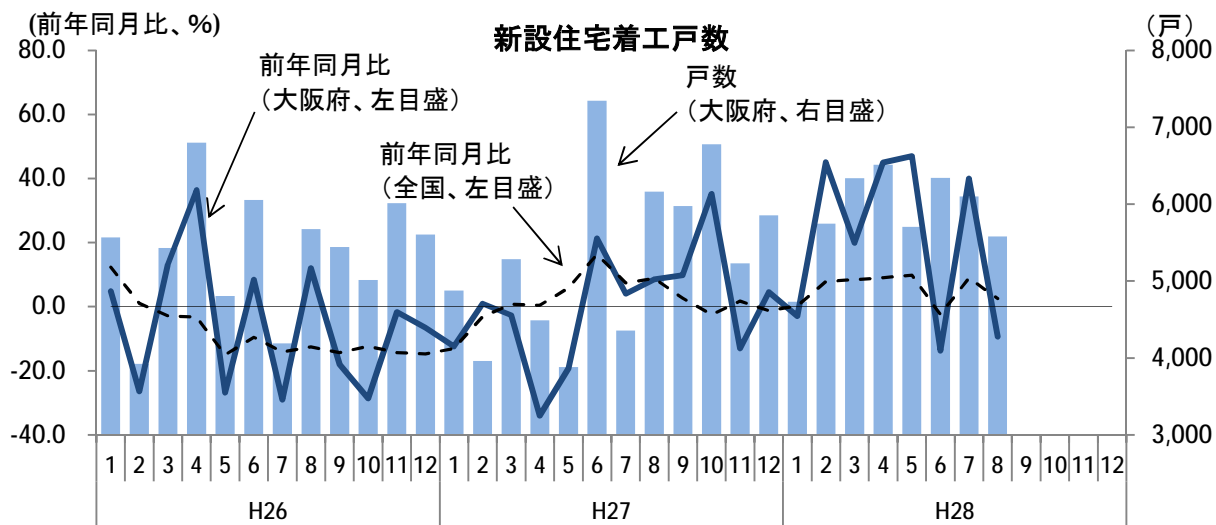
(大阪府、前年同月比(%), 8月)

普通車	小型車	軽自動車
14.8	▲1.7	▲1.1

[需要] 投資

投資は、持ち直している。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少。公共投資は増加。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少。】

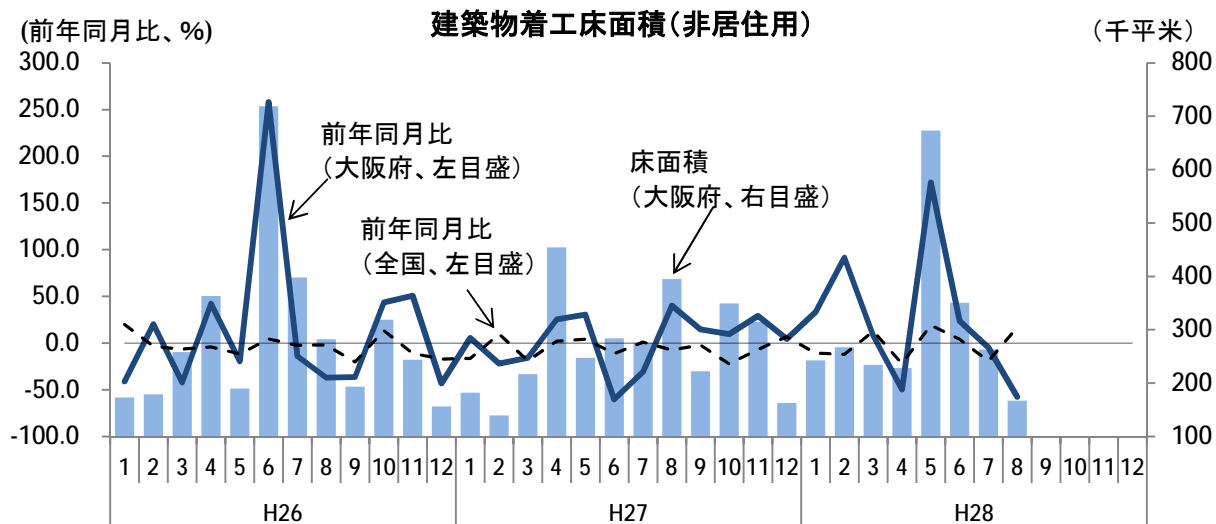


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		28年6月	7月	8月
戸数	大阪府	6,341	6,102	5,581
前年比 (%)	大阪府	▲13.7	40.0	▲9.4
	全国	▲2.5	8.9	2.5

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%)、8月)		
持家	貸家	分譲
16.6	▲5.2	▲19.8

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

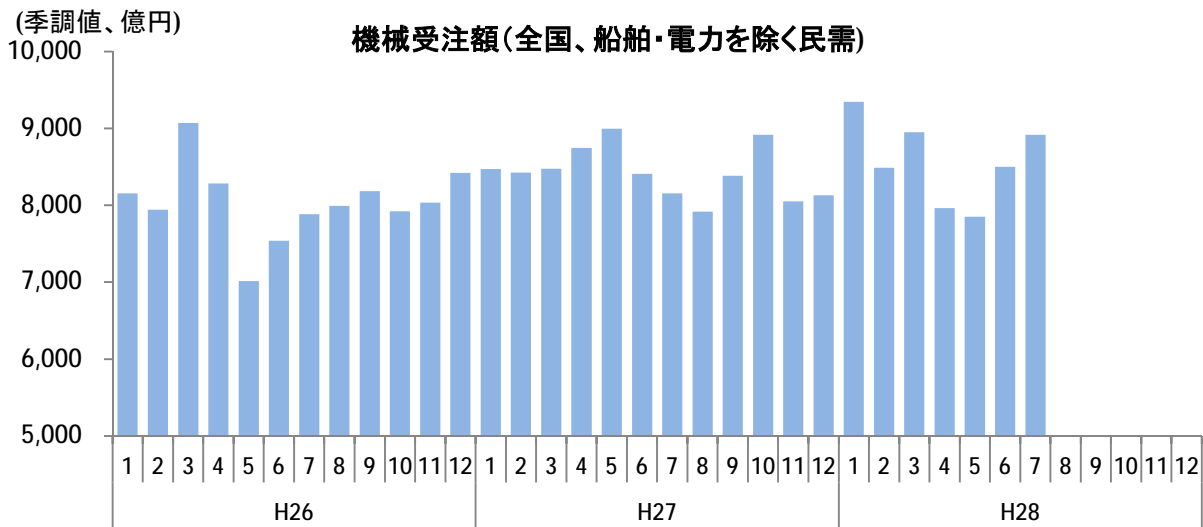
		28年6月	7月	8月
千 m ²	大阪府	351	263	167
前年比 (%)	大阪府	23.5	▲4.7	▲57.7
	全国	4.2	▲19.1	16.7

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、8月)	
増加	運輸業(3.0) その他のサービス業(2.7) 宿泊業・飲食サービス業(2.2)
減少	卸売業・小売業(▲62.7)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

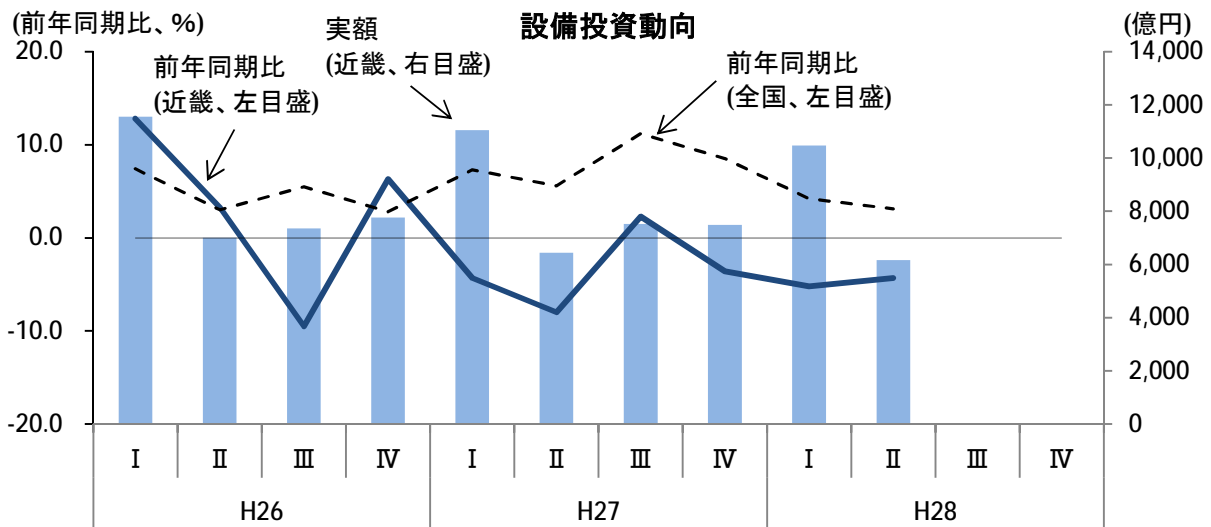
○機械受注額【7月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	28年6月	7月	8月
全国(億円)	8,498	8,919	

○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で減少。「製造業」は増加、「非製造業」は減少。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		27年10~12月	28年1~3月	4~6月
億円	近畿	7,492	10,474	6,162
前年同期比(%)	近畿	▲3.6	▲5.2	▲4.3
	全国	8.5	4.2	3.1

○公共工事請負金額【2ヶ月連続の増加。】

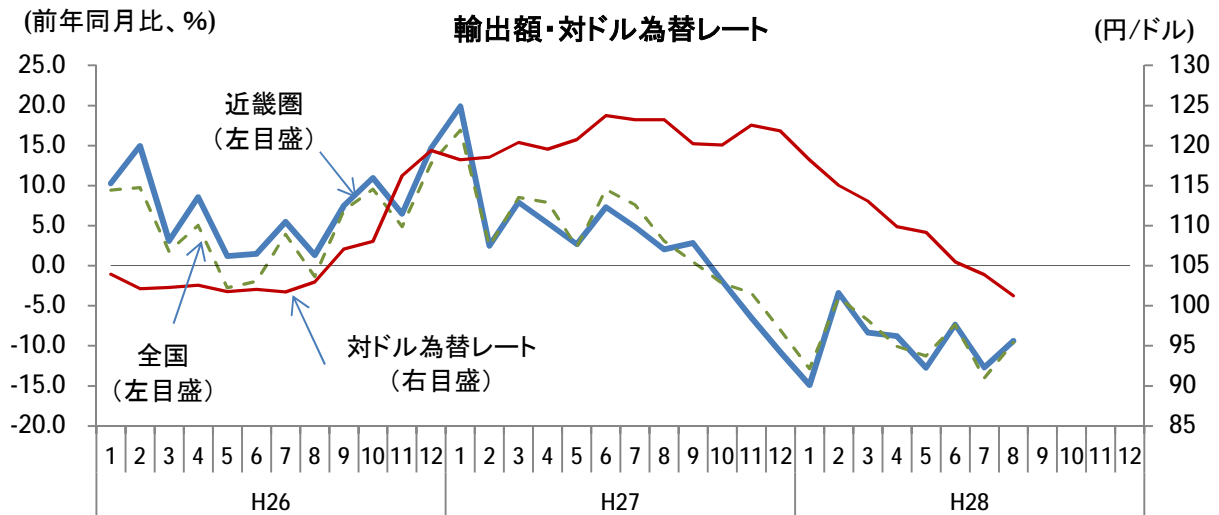
		28年6月	7月	8月
億円	大阪府	567	941	473
前年比(%)	大阪府	▲33.5	105.1	41.0
	全国	▲1.8	▲6.9	12.0

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

[需要] 貿易・観光

輸出は、弱い動きとなっている。輸出額は減少。主要国向けでは、すべての地域向けで減少。輸入額は減少。

○輸出額【11ヶ月連続の減少。「鉄鋼」、「半導体等電子部品」などが減少。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで減少。】



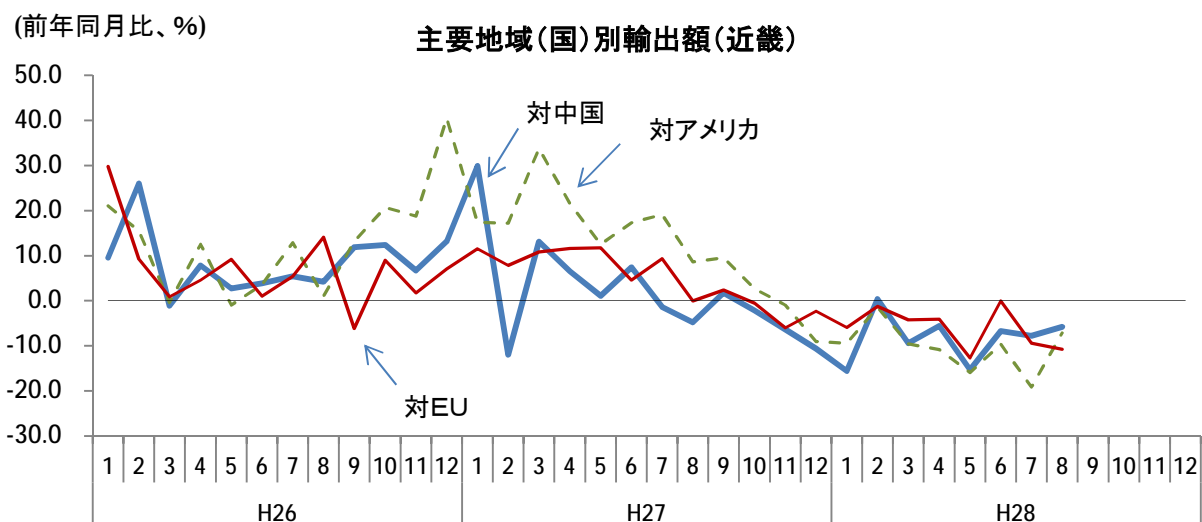
(資料) 大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		28年6月	7月	8月
輸出額(億円)	近畿	12,818	11,999	P 11,774
前年比 (%)	近畿	▲7.3	▲12.7	P ▲9.4
	全国	▲7.4	▲14.0	P ▲9.6
為替レート(円/ドル)		105.49	103.90	101.27

品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、8月)

増加	半導体等製造装置、電池
減少	鉄鋼、半導体等電子部品



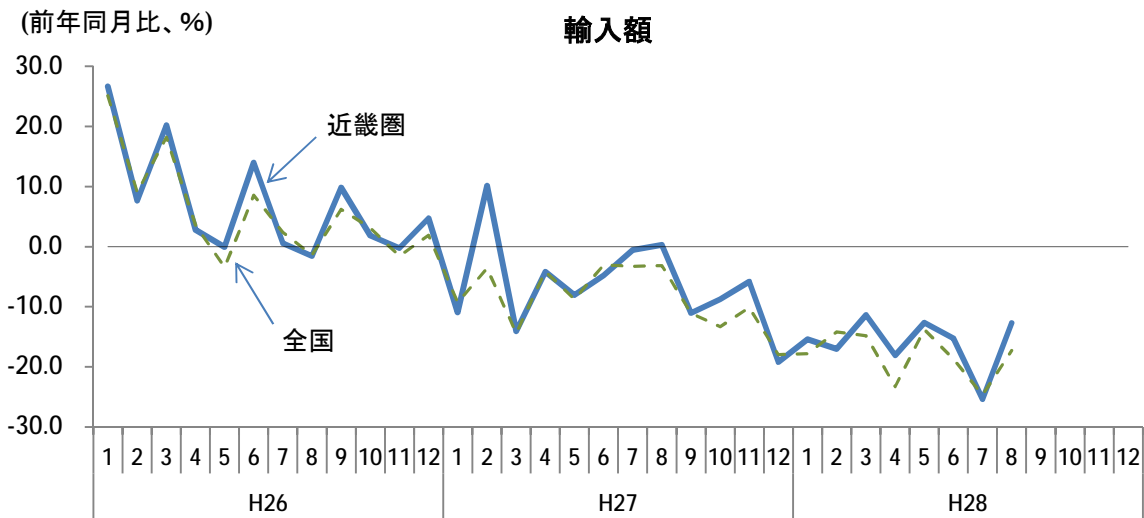
(資料) 大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、8月)

アジア(含む中国)	▲9.4	10ヶ月連続の減少
中国	▲5.8	6ヶ月連続の減少
EU	▲10.8	11ヶ月連続の減少
アメリカ	▲7.1	10ヶ月連続の減少

[需要] 貿易・観光

○輸入額【12ヶ月連続の減少。「原油及び粗油」、「天然ガス及び製造ガス」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		28年6月	7月	8月
輸入額(億円)	近畿	10,591	P 10,197	P 10,769
前年比 (%)	近畿	▲15.2	P ▲25.4	P ▲12.7
	全国	▲18.7	P ▲24.7	P ▲17.3

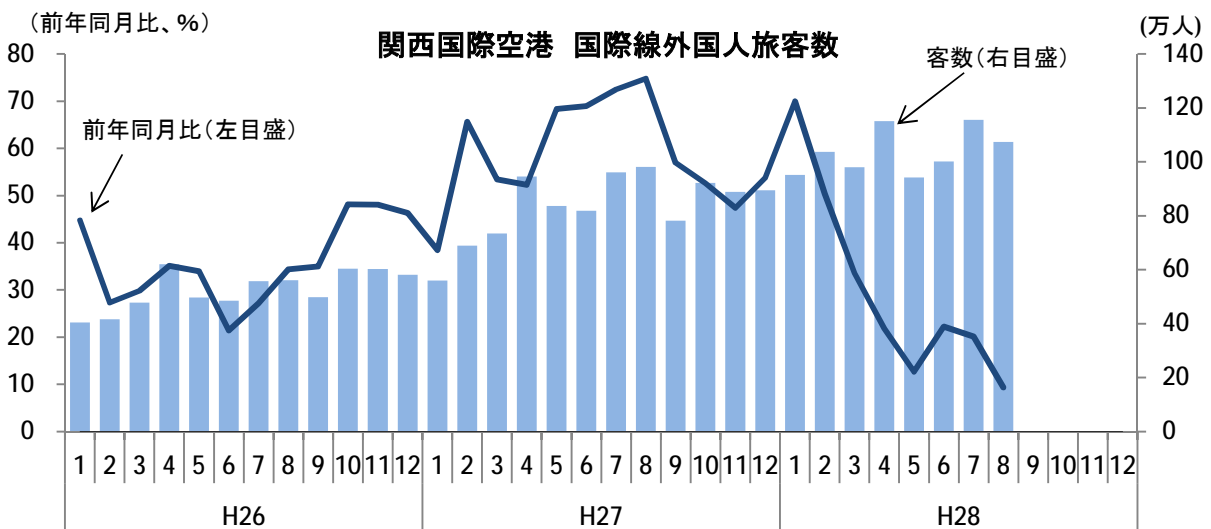
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、8月)

増加	医薬品、採油用の種・ナット及び核
減少	原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%)、8月)

アジア(含む中国)	▲14.2	12ヶ月連続の減少
中国	▲14.3	5ヶ月連続の減少
EU	▲4.2	6ヶ月連続の減少
アメリカ	▲8.3	7ヶ月連続の減少

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で54ヶ月連続の増加。】



(資料)関西エアポート(株)「運営概況」

	28年6月	7月	8月
万人	100.1	P 115.6	P 107.3
前年比(%)	22.2	P 20.2	P 9.4

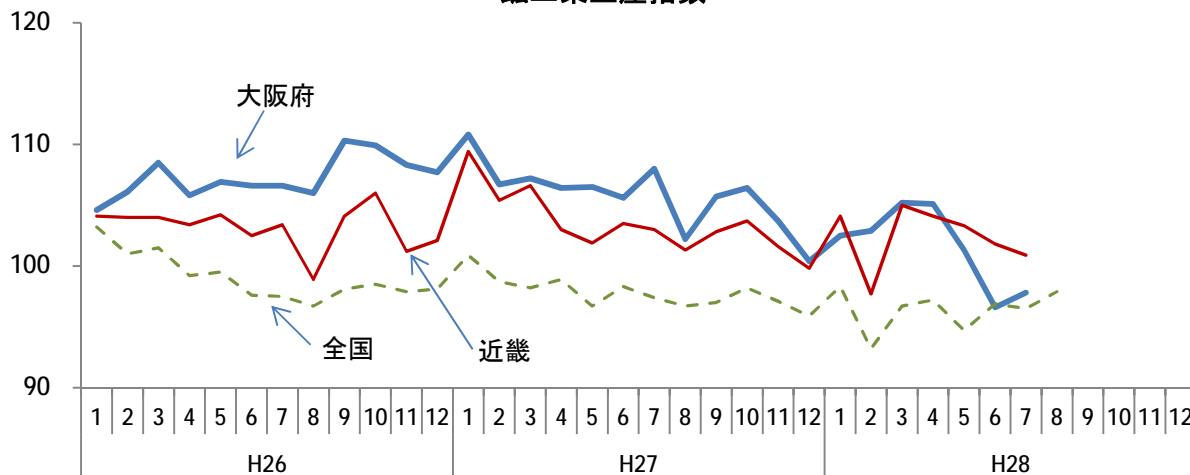
[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(7月)では、生産、出荷はともに上昇。近畿の生産(7月)は低下、全国の生産(8月)は上昇。企業倒産では、件数は横ばい、負債金額は悪化。

○**鉱工業生産指数【大阪府(7月)は4ヶ月ぶりの上昇。「化学」、「金属製品」などが上昇。近畿(7月、鉱工業)は4ヶ月連続の低下。全国(8月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。】**

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

鉱工業生産指数

季調済	28年6月	7月	8月
大阪府	96.6	P 97.8	
近畿	101.8	100.9	
全国	96.9	96.5	P 97.9

鉱工業出荷指数

季調済	28年6月	7月	8月
大阪府	93.0	P 95.3	
近畿	99.7	100.7	
全国	95.1	95.8	P 94.6

生産指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、7月速報)

上昇	化学(13.8):医薬品、酸化エチレン 金属製品(17.9):橋りょう、飲料用アルミニウム缶 鉄鋼(7.4):鍛鋼品、鋼半製品
低下	電子部品・デバイス(▲15.7):液晶素子 その他(▲10.7):平版印刷(オフセット印刷)、工業用ゴム製品 はん用・生産用・業務用機械(▲3.3):超硬工具、プレイバックロボット

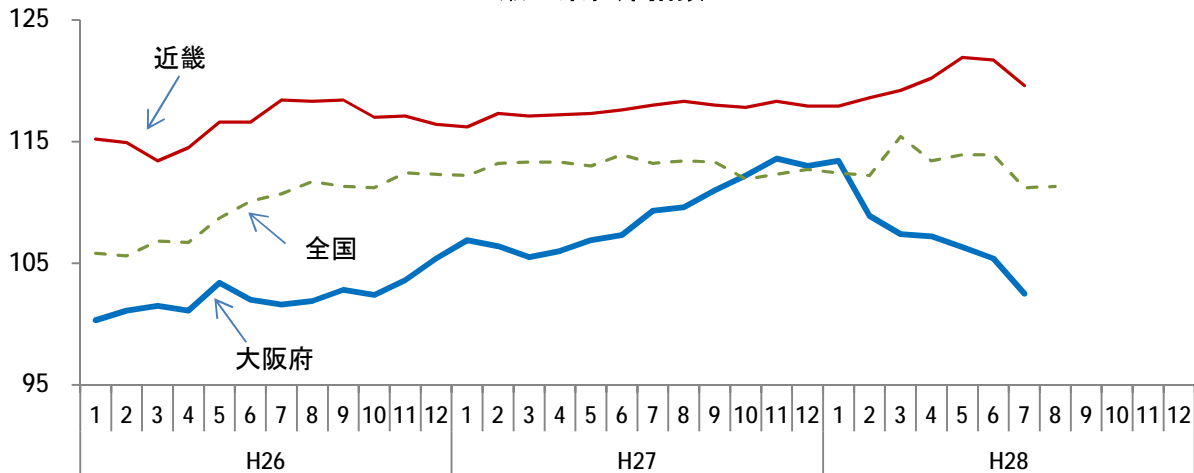
(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

[供給] 生産・企業活動

○鉱工業在庫指数【大阪府(7月)は6ヶ月連続の低下。「はん用・生産用・業務用機械」、「化学」などが低下。近畿(7月)は2ヶ月連続の低下。全国(8月)は3ヶ月ぶりの上昇。】

(季節調整済)

鉱工業在庫指数



(資料) 大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

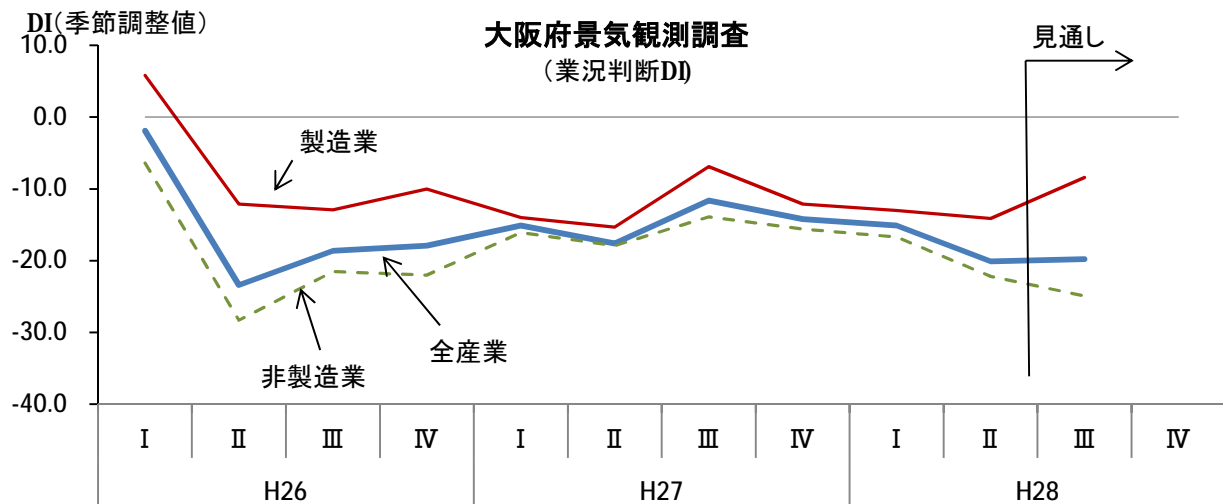
鉱工業在庫指数

季調済	28年6月	7月	8月
大阪府	105.4	P 102.5	
近畿	121.7	119.6	
全国	113.9	111.2	P 111.3

在庫指数における産業別の主な変動
(大阪府、前月比(%)、寄与度順、7月速報)

上昇	その他(10.0): 革靴、ゴムベルト 鉄鋼(1.4): 鋼半製品、小型棒鋼
低下	はん用・生産用・業務用機械(▲10.1): ショベル系掘削機械、ブルドーザ 化学(▲5.8): ポリプロピレン、ポリビニルアルコール

○企業の業況判断【4~6月期(全産業)は3期連続の悪化。】

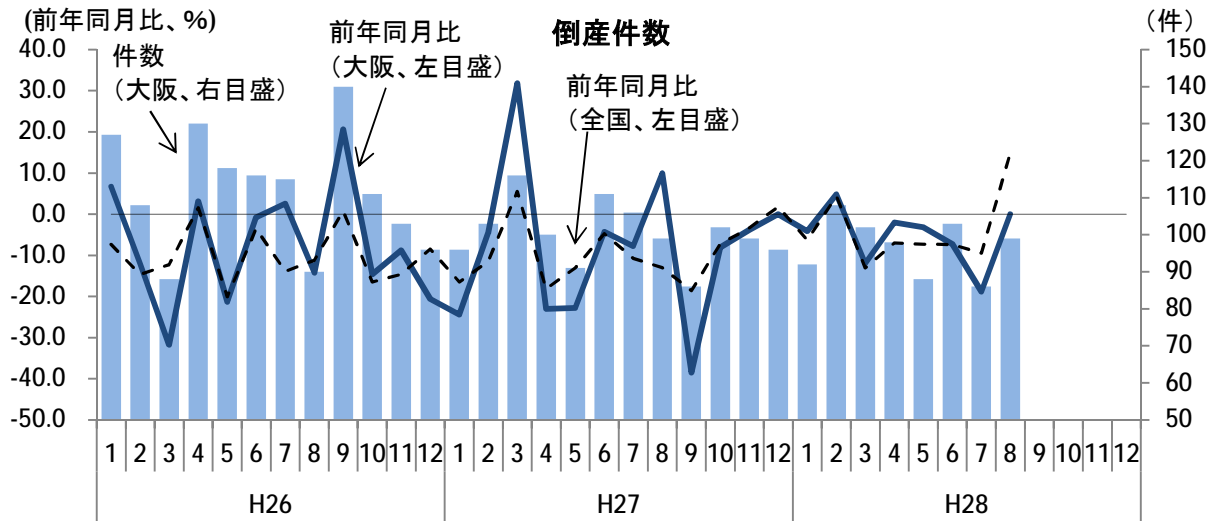


(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	27年10~12月	28年1~3月	4~6月	7~9月 (見込み)
全産業	▲14.2	▲15.1	▲20.1	▲19.8
製造業	▲12.1	▲13.0	▲14.1	▲8.4
非製造業	▲15.6	▲16.7	▲22.2	▲24.9

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で横ばい、負債金額は前年同月比で3ヶ月ぶりの増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		28年6月	7月	8月
件	大阪府	103	86	99
前年比 (%)	大阪府	▲7.2	▲18.8	0.0
	全国	▲7.4	▲9.5	14.8

負債金額

		28年6月	7月	8月
億円	大阪府	98	83	193
前年比 (%)	大阪府	▲39.1	▲9.0	333.1
	全国	▲14.6	3.2	28.7

主要業種の倒産件数(大阪府)

	28年6月	7月	8月
建設業	15	12	22
製造業	14	19	15
卸売業	22	20	19
小売業	18	8	11
サービス業他	20	21	18

主な倒産(大阪府、8月)

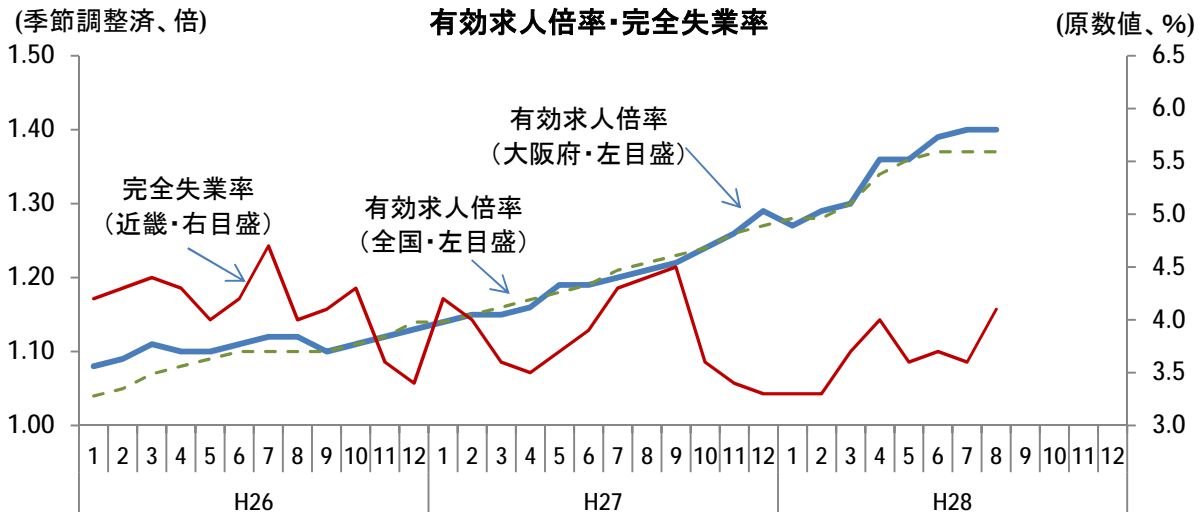
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
マンション分譲販売ほか	9,270	既往のシワ寄せ
不動産開発分譲	3,160	他社倒産の余波
家庭用浄水器用活性炭販売	785	販売不振
食品製造卸	500	過小資本
不動産管理・売買・賃貸・仲介	497	他社倒産の余波
土木工事	434	販売不振
オフセット印刷	400	既往のシワ寄せ

[供給] 雇用

雇用は、改善している。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は横ばい、新規求人倍率は上昇。所定外労働時間(7月)は低下。

○完全失業率【近畿は前年同月差で4ヶ月連続の低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は前月比横ばい】、新規求人倍率【大阪は3ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	28年6月	7月	8月
%	3.7	3.6	4.1
前年同月差	▲0.2	▲0.7	▲0.3

完全失業率(全国、季節調整値)

	28年6月	7月	8月
%	3.1	3.0	3.1
前月差	▲0.1	▲0.1	0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	27年10~12月	28年1~3月	4~6月
大阪府	3.6	3.9	4.5
近畿	3.4	3.5	3.8
全国	3.1	3.2	3.3

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	28年6月	7月	8月
大阪府	1.39	1.40	1.40
全国	1.37	1.37	1.37

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	28年6月	7月	8月
大阪府	2.17	2.10	2.20
全国	2.01	2.01	2.02

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

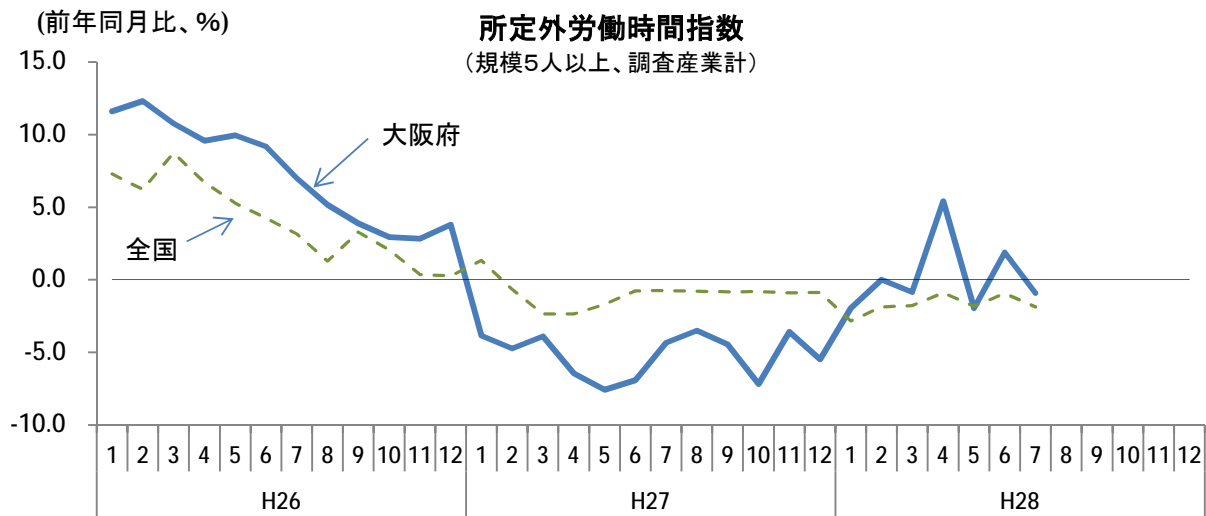
	28年6月	7月	8月
産業計	9.1	1.2	10.3
建設業	9.1	8.0	4.5
製造業	1.8	0.5	0.9
卸売業、小売業	8.5	▲2.3	▲7.2
宿泊業、 飲食サービス業	38.6	3.1	31.2
医療、福祉	12.8	6.7	16.0

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

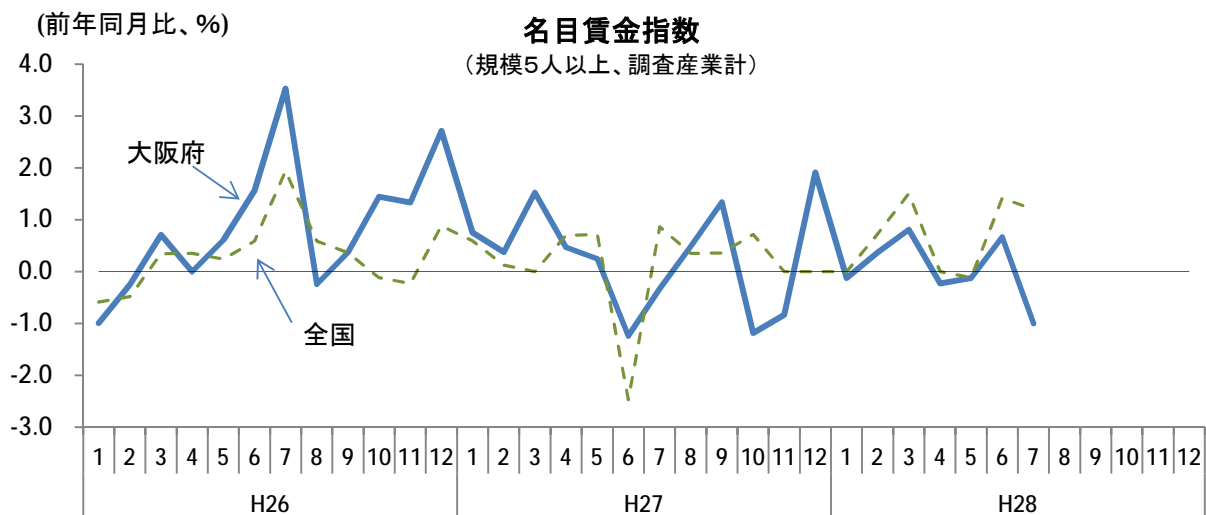
○所定外労働時間指数【大阪府(7月)は2ヶ月ぶりの低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		28年6月	7月	8月
指数	大阪府	108.3	107.3	
前年比 (%)	大阪府	1.9	▲0.9	
	全国	▲1.0	▲1.9	P

○名目賃金指数【大阪府(7月)は2ヶ月ぶりの低下。】



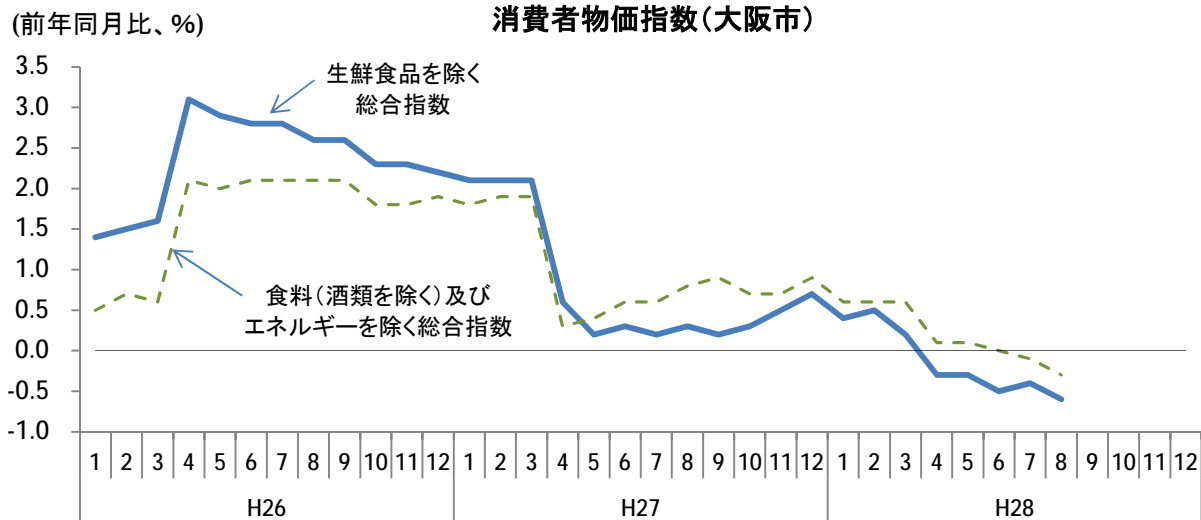
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		28年6月	7月	8月
現金給与総額(円)	大阪府	461,282	402,516	
前年比 (%)	大阪府	0.7	▲1.0	
	全国	1.4	1.2	P

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は5ヶ月連続の低下。「光熱・水道」が低下に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は2ヶ月連続の低下。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※H27=100。

総合指数(H27=100)

		28年6月	7月	8月
指数	大阪市	99.7	99.6	P 99.6
前年比 (%)	大阪市	▲0.4	▲0.3	P ▲0.6
	全国	▲0.4	▲0.4	▲0.5

生鮮食品を除く総合指数(H27=100)

		28年6月	7月	8月
指数	大阪市	99.6	99.5	P 99.5
前年比 (%)	大阪市	▲0.5	▲0.4	P ▲0.6
	全国	▲0.4	▲0.5	▲0.5

食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H27=100)

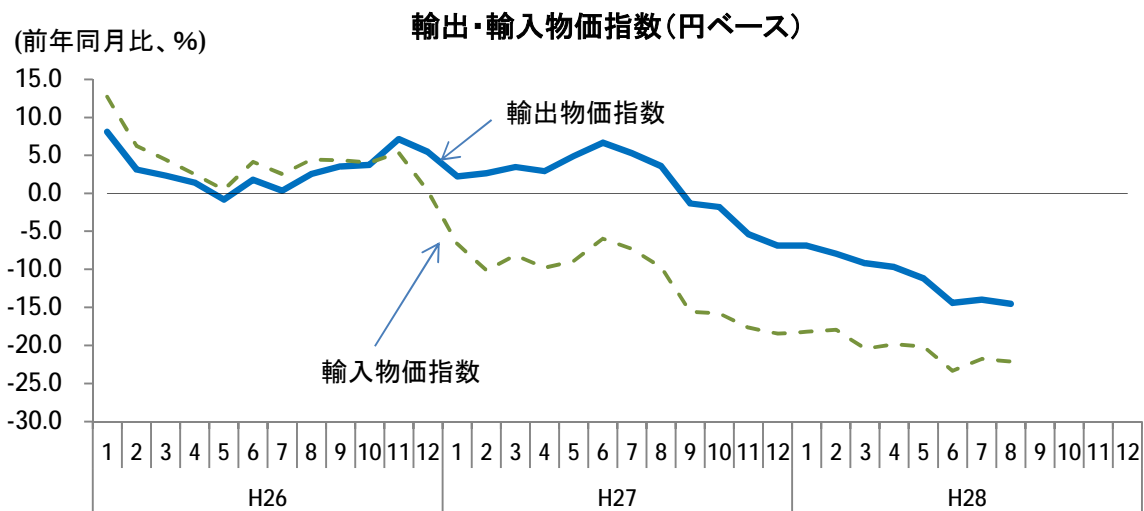
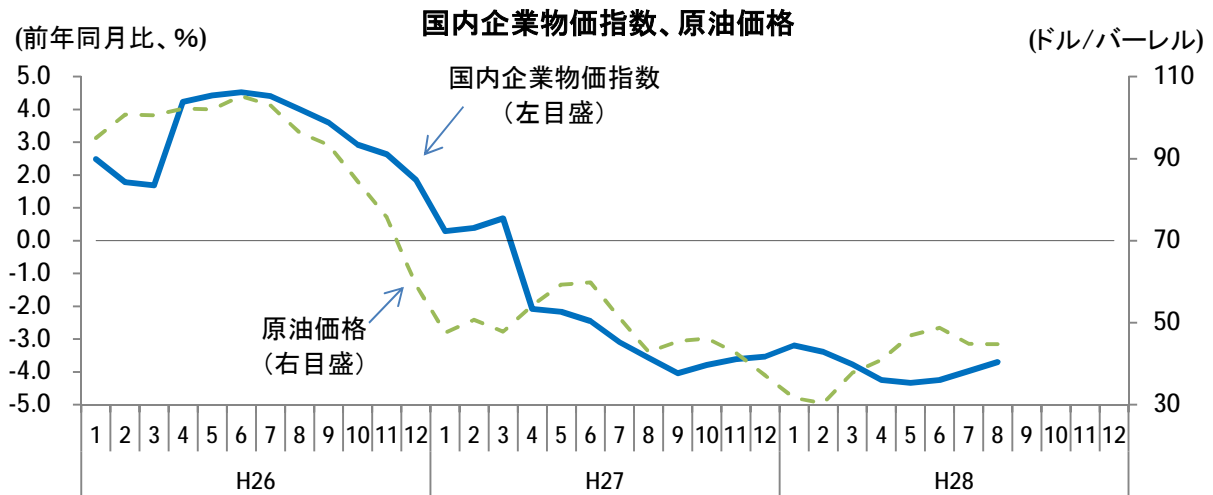
		28年6月	7月	8月
指数	大阪市	99.9	99.8	P 99.9
前年比 (%)	大阪市	0.0	▲0.1	P ▲0.3
	全国	0.5	0.3	0.2

総合指数において主に変動した分類 (大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、8月速報)

上昇	食料(1.0):果物(キウイフルーツ、ぶどうB、グレープフルーツ)、肉類(牛肉(国産品)、牛肉(輸入品)、ベーコン)
低下	光熱・水道(▲6.9):他の光熱(灯油)、ガス代(都市ガス代)

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は低下。原油価格は低下。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

企業物価指数

	28年6月	7月	8月
国内企業物価指数	99.2	99.2	P 98.9
輸出物価指数	98.6	97.7	P 96.3
輸入物価指数	91.0	91.3	P 89.1

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。H22=100。

原油価格(WTI)

	28年6月	7月	8月
ドル/バーレル	48.75	44.89	44.75

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(8月速報、寄与度(%))

—
電力・都市ガス・水道 (▲0.10) : 産業用特別 高圧電力、都市ガス、業務用高圧電力
石油・石炭製品 (▲0.04) : 軽油、液化天然ガ ス、A重油
非鉄金属 (▲0.04) : 銅地金、金地金、銀地金
農林水産物 (▲0.03) : 豚肉、牛肉、鶏卵